平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	中学校修繕事業
予算科目	10 款　3 項　1 目
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実
所管課情報	担当課：　学校教育課　電話番号（内線）：　642
記入者情報	所属長：　田中 浩　担当責任者：　大西 昌治
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　17 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	市内4中学校
根拠法令等	
事業の目的	生徒が、安全で、安心に過ごせる学校施設の維持管理を図る。
事業の内容	中学校施設及び設備の修繕・改修
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	10,395	8,279	3,433	6,779
	人件費	1,199	1,220	569	1,220
	合計	0	9,499	4,002	7,999
人件費内訳	人工数	0.15	0.15	0.07	0.15
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	569	1,220
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	11,594	9,499	4,002	7,999

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
整備状況	%	95	42	82	

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目　標	10000%	10000%	0	0
実　績	95%	82%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度、計画をしていた修繕箇所については、学校と施工時期を調整しながら、実施することができた。突発的な修繕箇所については、各学校に予備費を計上し対処をしているが、コストの縮減など適正な執行を図ることができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	計画をしていた修繕を適切に実施することができた。突発的な修繕については、コストの縮減など適正な執行を図ることができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	